

グループ①「市民主役のまちづくり」、チーム名「サ（イ）バエージェント」

鯖江市民は1家族!

サバエさん

～毎月1回市民団欒しよう!～

安井 梨子 (経営学部2年) 黒木 健太郎 (法学部3年)
田中 佑弥 (政治経済学部3年) 高橋 隼士 (商学部2年)

明治大学創立者出身地派遣プログラム グループ1 1

テーマ: 市民主役のまちづくり
～熟議方式を使って～

- テーマ背景
“これまでの行政と市民の関係には
限界がきている...”

↓

平成22年 市民主役条例 施行

“ここに市民の参加と協働で、
未来への夢と希望が広がる鯖江をつくるために、この条例を制定します。”
(鯖江市市民主役条例 序文より抜粋)

市民主役条例委員会 発足

明治大学創立者出身地派遣プログラム グループ1 2

中間調査報告(1)

- 実施日
2012年8月27日～30日
- ヒアリング先
・(株)セカンドアカデミー 佐々木 様
・鯖江市市民協働課の皆様
・鯖江市連合青年団 副団長 岡江様
・事務局 タカシマ様
・市民主役条例委員会委員長 渡輪 様
・北中山地区公民館館長 森本 様
・しいの木クラブ 様
・学生団体with 様
- 主な聞き取り内容
まちづくりのための活動について、活動動機、
困っていること など。

明治大学創立者出身地派遣プログラム グループ1 3

中間調査報告(2)

市民主役条例における「市民主役」
“...わたしたちは...まちづくりの主役は市民であるという思いを共有し、
責任と自覚を持って積極的にまちづくりを進めます。
・市は、協働のパートナーとしてまちづくりに参加する市民の気持ちに寄り添い、その意思を尊重するとともに、自主自立を基本とした行政運営を進めます。”
(鯖江市市民主役条例 第2条基本理念より抜粋)

市行政にとっての「市民主役」

市民にとっての「市民主役」

「市民主役」の意味についての認識がきわめて異なる

明治大学創立者出身地派遣プログラム グループ1 4

中間調査報告(3)

多くの市民は、行政と連携する形でのまちづくりにはプレッシャーを感じる

まちづくりに関する委員会や会議体のメンバーが似通った顔ぶれである

行政側から市民にまちづくりへの参加を働きかけることは、市民主役に矛盾するのではないかと?

提案!

明治大学創立者出身地派遣プログラム グループ1 5

(提案) サバエさん計画

明治大学創立者出身地派遣プログラム グループ1 6

事業提案 サバエさん計画(1/5)

- なぜ「サザエ一家」は国民的の一家なのか?

老若男女 毎日朝夕2回 同じ居間に集う
一家団欒こそが 家族円満の秘訣。

明治大学創立者出身地派遣プログラム グループ1 7

事業提案 サバエさん計画(2/5)

- サバエさんの一家団欒とは?
＝鯖江市民の間に家族的な絆を持たせる場です!
- ▼ 団欒テーマに興味がある鯖江市内の老若男女
「ああ、そういえばね…」と自由に! 気軽に! 話せる場所
参加者の年齢は、鯖江市内の年齢人口比!
新規参加者の確保
- ▼ テーマに近い行政担当者が「対等」な立場で参加
- ▼ 終了後はご飯へ!

明治大学創立者出身地派遣プログラム グループ1 8

事業提案 サバエさん計画(3/5)

- サバエさんの一家団欒とは?
参加者の誰もががしゃべりやすいことが大切!
話し合いの場の工夫を!
- ▼ ファシリテーター = フネさんのイメージ!
- ▼ 補助物

明治大学創立者出身地派遣プログラム グループ1 9

事業提案 サバエさん計画(4/5)

- ・板書方法
“原則として発言者の言葉をそのまま書く。要約すると書き手の意志が入り込んでしまうため。板書は進行を通らす効果があるが、内容整理、意見の可視化、議論の展開の視認性になる効果など重要なメリットがある。”
(中野民夫他『ファンリテーション～実践から学ぶスキルとこころ』、岩波書店、2009年)

明治大学創立者出身地派遣プログラム グループ1 10

事業提案 サバエさん計画(5/5)

話し合いの流れ

共有 → 拡散 → 収束 → 共有

- 1: **共有**... 様々な情報・目的・ゴール設定などを共有し、参加と相互作用の根拠を築く段階
- 2: **拡散**... 自由な発想でアイデアを拡げ、多様な可能性を膨らませる段階
- 3: **収束**... 具体的な成果に向かって意見を集約し、まとめる段階
- 4: **共有**... 今までの成果を確認し、次に向けてのステップを明確にする段階。

★この流れで進んでいく時、壁にぶつかる時がある。
 Ex) 良いところまで来ているが決定打がない。様々な意見が飛び交い続ける。アイデアが広がったけれども納得できない。
 →このような状況は一種の混沌的な状況が発生することがあるが、混沌的な状況は創造的な成果を生み出すうえでなくてはならないものである。

明治大学創立100周年地域連携プログラム グループ1 11

【提案】 サバエさん計画

要は、立場・年齢がバラバラな人が集まって話しているだけでしょう。

この話し合い、どこへ向かうの…？

もっと サバエさん計画!(1/5)

○ サバエさん計画とは
 政策立案や政策決定の中心に市民を巻き込む前に、まずは多様な市民から率直な意見を収集する場をつくり、そこでなんでも聞いてくれる！話せる！という家族のような「安心感」から、市民のまちづくり参画へのプレッシャーを和らげようとするものです。

わたしたちは、市民が自分の身の回りについて意識をはじめると、**まずは他者の考えに触れてみる**ことが大切であると考えます。
 それには**まずは集まってみる**こと。そこから少しずつ、上手に話を引き出していき姿勢、ちょっと気になると、人に声をかけてみる姿勢が条例・行政・市民が求める「市民主体」意識のきっかけになると考えます。

明治大学創立100周年地域連携プログラム グループ1 13

もっと サバエさん計画!(2/5)

知恵集約型

行政ベース→一つの結論
メンバーはステークホルダー、行政が決定すっきり ⇒ 裏返せば、それしか結論がない

仲間巻き込み型

個人ベース→多くの懸案事項
メンバーは仲間が仲間を呼ぶ
参加メンバーが各自感じたものを持ち帰る
もやもや ⇒ また話したくなる！

明治大学創立100周年地域連携プログラム グループ1 14

もっと サバエさん計画!(3/5)

行政側から市民にまちづくりへの参加を働きかけることは、市民主役に矛盾するのではないかな？

話し合いのメンバーは、まずは市行政が呼んでくれることが大切。これは矛盾ではありません。なぜなら、市は「協働のパートナー(市民主役条例第2条)」であるためです。

発起人である市は、この場に市民をどんどん巻き込んでいく。これに全力を注ぎましょう。

明治大学創立100周年地域連携プログラム グループ1 15

もっと サバエさん計画!(4/5)

- ・市内NPO法人・団体・提案型事業制度一覧のハンドアウトを帰り際に配布！
→どこに**潜在的な仲間**がいるのかわかる！
- ・政策立案・事業、活動への昇華は、『広報さばえ』や、個人への手紙で報告！

明治大学創立100周年地域連携プログラム グループ1 16

もっと サバエさん計画!(5/5)

ご清聴ありがとうございました！

明治大学創立100周年地域連携プログラム グループ1 17

グループ②テーマ「中心市街地の賑わいの創出について」

中心市街地の賑わいの創出について

～回覧板で賑わいを取り戻す～

メンバー：山下龍太郎 商学研究科1年
 池田大地 法学部1年
 亀ヶ谷沙織 情報コミュニケーション学部2年
 大塚真由 国際日本学部2年

1

目次

- I. 賑わいの定義
- II. 商店街が抱える問題点
- III. 商店街が抱える問題点の關係性
- IV. グループ案
 1. 目的
 2. 概要
 3. 内容
 4. 導入効果

2

賑わいの定義

- * **人の集まり**
 - 地域内の人
 - 地域外の人
- * **商店街の元気**

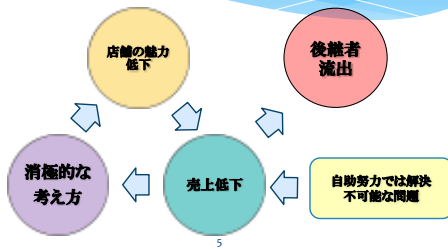
3

商店街が抱える問題点

- * **売上低下**
 - 大型店舗の郊外への進出
- * **後継者の流出**
 - 実子への店舗の相続が困難
- * **消極的な考え方**
 - 後継者の流出による諦観
- * **各店舗の魅力の低下**
 - 商品やサービスの差別化戦略の不在

4

商店街が抱える問題点の関係性



グループ案

回覧板の導入



6

回覧板の目的

- * **情報共有の場の創造**
 - * 情報を発信したいと考える店主の苦悩
- * **消極的な考えの改善**
 - * 消極的な店主が情報を自ら得ようとならない
 - * 商店・商店街同士のつながりが希薄

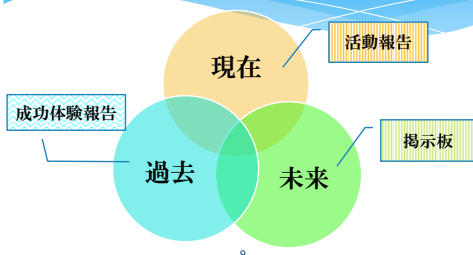
7

回覧板の概要

- * 主体: **鯖江おかみさん会**を中心とする有志
 - 商店街主体の活動
- * 頻度: 2か月に1回程度
- * 範囲: 商店街に加盟している商店
- * 手段: **手渡し**
 - コミュニケーションの創造

8

回覧板の内容(1)



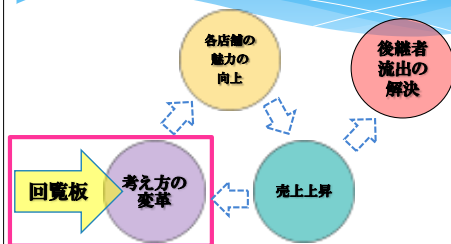
9

回覧板の内容(2)

- * **イベント情報**
- * **商業以外の内容**
- * **鯖江おかみさん会の特別ページ**
- * **地場産業情報**

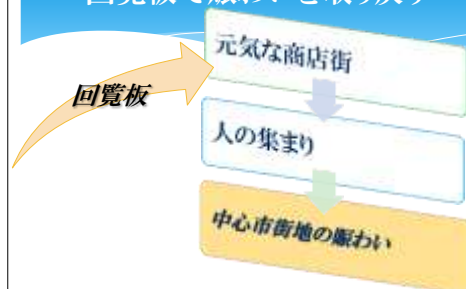
10

回覧板の導入効果



11

回覧板で賑わいを取り戻す



12



グループ③テーマ「市民協働による食育推進」、チーム名「チーム健康」



目次

1章：鯖江市における食育の現状と課題

2章：具体的な提言案

3章：まとめ

食育とは

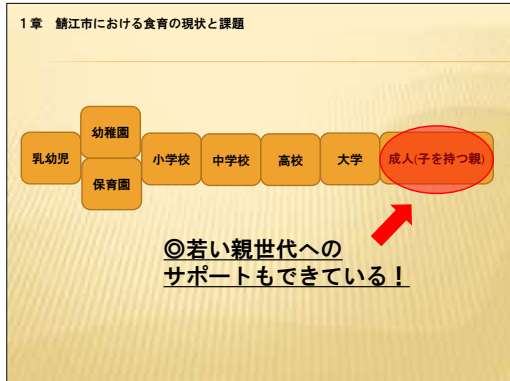
- * 市民一人ひとりが健全で豊かな食生活が送れるよう、食についても自ら考える習慣を身につけ、健康の向上につながる栄養的にバランスのとれた食生活を実践し、また、食文化の理解を深め、自然の恵みやそれを育てあげた人々への感謝の心を育む「食育」を推進する。（食育推進計画より一部抜粋）
- * 現在鯖江市は「食でつながる みんなのさばえ」という基本理念のもと、食育活動を行っている。



1章 鯖江市における食育の現状と課題

例) 幼稚園、小学校、中学校での食育

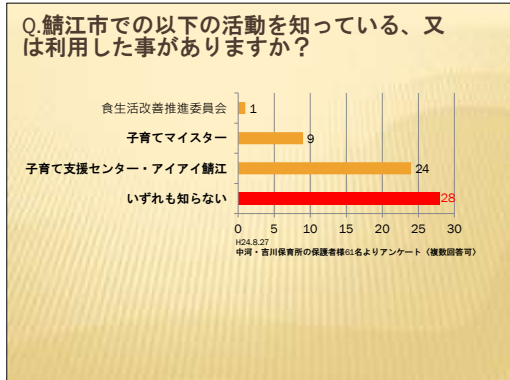
- ・市内の全小学校に学校農園を設置
- ・給食の器には地場産業の漆器を使用
- ・学校教育全体の中で、計画的に推進
- ・親子料理教室などの体験
- ・栄養士による栄養相談
- ・食生活改善推進委員会、アイアイ鯖江・子育て支援センター、子育てマイスター、etc



1章 鯖江市における食育の現状と課題

鯖江市では...
現段階で活発に食育が推進されている！

活動は完璧！...？



1章 鯖江市における食育の現状と課題

より食育活動を盛んにするのではなく、現在の活動の認知度を高めることがより重要！

“食育のまち鯖江”

というイメージを形成し
市内、市外、ひいては全国に発信
→鯖江市民の食育に対する意識を高める！

2章：具体的な提言案

① “食育キャラクター” の制作

〈概要〉

今話題のゆるキャラ(例：チーパ君)のような食育キャラクターを市民から募集し、制作する。

〈目的〉

- ①鯖江市の食育活動に対する、市内・市外からの注目・関心をより一層高める。
- ②今後のイベントへの集客率向上を図る。
- ③“食育のまち、鯖江”のイメージの発信。

2章：具体的な提言案

- ① “食育キャラクター” の制作
- ② “さばえ食育の日” 制定
- ③ SNSを用いた広報

2章：具体的な提言案

① “食育キャラクター” の制作

～キャラクター例～



越野ルビーちゃん



マルセイユメロンくん



吉川ナスくん

2章：具体的な提言案

② “さばえ食育の日” 制定

〈概要〉

「さばえ食育の日」を制定する。毎月、隔月など年間を通して複数日「さばえ食育の日」を制定し、更にその日をそれぞれ特定の食べ物の日(例：吉川ナスの日etc)とする。そしてそれにちなんだイベントなども行う。

〈目的〉

- ・食そのものに改めて目を向ける機会とする。
- ・鯖江の特産物をもっと認知してもらう。
- ・市民の“食育”に対する関心の向上。

2章：具体的な提言案

② “さばえ食育の日” 制定

例：吉川ナスの日（7月4日）

市内高校生、大学生の吉川ナス共同栽培！！

〈メリット〉

食育の難しい高校生へ、栽培・収穫体験を通じて、食育を推進できる。

2章：具体的な提言案

② “さばえ食育の日” 制定



イベントへの参加によって、若い世代にも食育に対する意識を高める！

2章：具体的な提言案

③ SNSを用いた広報

※SNSとは...

ソーシャルネットワークサービスの略。インターネット上での交流活動の場を示す。例)Twitter・Facebook・mixi等。

〈概要〉

現在、食育活動・イベントの広報は、市の広報誌・HPを主に利用しているが、SNS等の媒体も使い、広報の幅を広げる。

〈目的〉

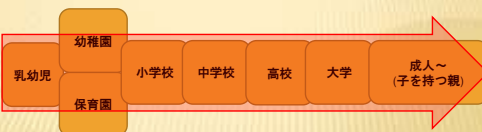
若い世代がより情報を得やすくなるようにする。
→イベントへの集客率の向上が見込まれる。

〈その他〉

広報だけでなく、保護者世代の情報共有・交流の場としても用いる。
→忙しくてイベントや相談所に足を運びにくい保護者にもアクセスしやすい。

3章 まとめ・今後の鯖江市食育の発展へ

食育は、つながってはじめて食育



食育はどこかの世代でやって終わりではない。一生つながっていかなければならない。



3章 まとめ・今後の鯖江市食育の発展へ

①鯖江に新しいゆるキャラを！

②さばえ食育の日を！

③もっとネットでつながろう！

食でつながる
みんなのさばえ



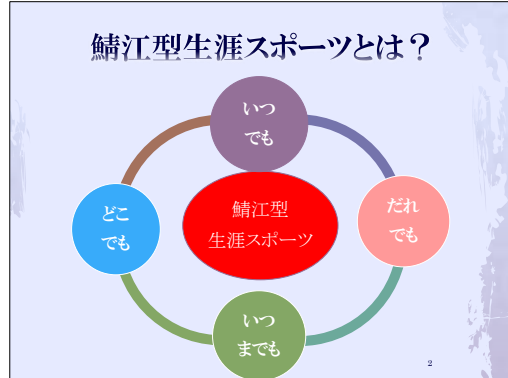
グループ④テーマ「ホームタウンスポーツ」、チーム名「鯖江スポーツ」

鯖江型生涯スポーツ

～未来のあなたは笑っていますか？～

経営学部4年	伴 雄介
経営学部3年	伊藤 宏樹
経営学部3年	内田 隼太
政治経済学部1年	坂田 直人

1



つまりレクリエーション

では、私たちの提案する企画は？

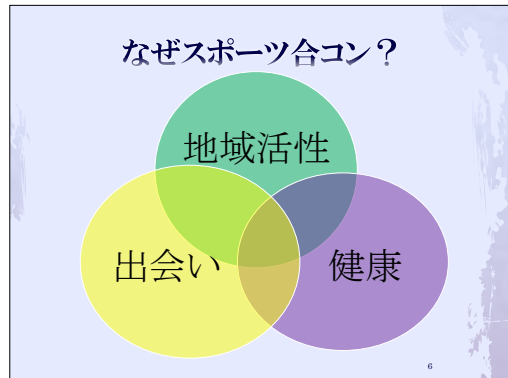
3

ツアー型スポーツ合コン

スポーツ合コンの概要

目的	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ施設の利用促進 鯖江の活性化
形式	<ul style="list-style-type: none"> 1泊2日のツアー形式 NEWスポーツを取り入れる
ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> 県外大学生(休み期間)

5



なぜツアー形式？

- ◆ 普段出来ない運動を旅行気分で味わえる
- ◆ 他のスポーツ交流イベントとの差別化
- ◆ 充実した交流時間の確保
- ◆ 多様なイベント開催が可能

7

ターゲットは大学生

若者に鯖江を知ってもらいきっかけ	広告ターゲットが絞れる
短期的セミナーハウスの役割	
鯖江の施設の利用率・認知度が上昇し	
鯖江に大学のセミナーハウスが出来るかも	

8

実施予定のスポーツ競技

マレットゴルフ(パークゴルフ)

すべての年齢の人が楽しめるゴルフを模したスポーツ



9

バウンドテニス

サービス範囲でのテニス

ダブルスができる為、合コンに最適



10

キンボール

大きいボールを用いたバレー

チーム制なので偏らない交流が可能な競技



11

その他の競技

- ◆ フットサル
- ◆ ドッジビー
⇒ボールの代わりにfrisbeeを用いたドッジボール
- ◆ アツアツリレー
⇒ボールを男女が頭で挟み落とさないように走るリレー

12

次回

さらなる集客を

他にも魅力あるイベントを用意①

カードを用いたアイスブレイク

- ・アイスブレイク用の自己紹介カードで参加者同士を紹介

S-life

- ・宴会場を用いて渋谷、六本木のクラブを再現
- ・立ち飲み形式で複数人の交流を図る

14

他にも魅力あるイベントを用意②

ベストペア賞

- ・各スポーツイベントで勝利したペアやチームに賞品

BBQ

- ・鯖江の野菜を用い鯖江をアピール

15

鯖江で
大学生に
魅力的な
スポーツ企画
やろうじゃないか

16

ご清聴ありがとうございました

17